

私たちベルマーク大使 第1陣7人決まる



ベルマーク新聞
2016年
新年号
発行所
公益財団法人
ベルマーク教育助成財団
東京都中央区築地5-4-18
汐留イーストサイドビル7階
〒104-0045
電話 (03)5148-7255
郵便振替口座00100-7-56035

大阪事務所
大阪市北区中之島2-3-18
朝日新聞大阪本館5F
〒530-8211
電話 (06)6231-0131
ダイヤルイン (06)6201-8031
名古屋事務所
名古屋市中区栄1-3-3
朝日新聞名古屋本館内
〒460-8488
電話 (052)221-0306
福岡事務所
福岡市博多区博多駅前2-1-1
朝日新聞福岡本館内
〒812-8511
電話 (092)482-0260

ベルマーク教育助成財団 2016
ベルマーク新聞は、どなたでも自由に購読できます。1部90円、年寄360円(送料、消費税込み)。参加団体の購読料は会費に含まれます。



ベルマーク運動
参加学校PTA
総数 27,627
幼稚園 5,145
小学校 14,599
中学校 6,470
高校 1,413
*高校には大学・公民館を含む

ベルマーク運動の発足50周年を記念してベルマーク財団が新たに設けた「ベルマーク大使」の第1陣7人が決まりました。活動は学校PTAや、ベルマークを商品につけている協賛会社の代表、仕分け集計ボランティアなど、多彩な顔ぶれです。運動がより広がるよう、一役買った集計ボランティアの代表として、7人による「大使バッジ」をお渡ししました。その活動ぶりは写真やエッセイなどで随時発信していきます。また第2陣、第3陣と続く予定です。

弁木正美さん 神戸・魚崎小PTA委員長



弁木正美(へんき まさみ)さん。神戸市東灘区の市立魚崎小学校PTAベルマーク委員長。神戸市中央区生まれ、2年生と5歳の幼稚園児の2人の女の子のお母さんです。「子どもを育て、通っていた小学校はベルマークに熱心でした。委員長に選ばれたから、ベルマークの仕組みや学校への貢献を知り、気が引き締まる思いがそうです。」

幡野たいさん 98歳、マーク仕分け半世紀



幡野(はたの)たいさん。1917(大正6)年4月生まれ、98歳。山梨県上野原市在住。近くの市立上野原小学校のベルマーク運動参加を手がけ、1965(昭和40)年から約50年間、同小に集まったベルマークの仕分けを引き受けてきました。「ベルマークは生きがい。健康につながります。おかげで長生きしていますよ。」

松本哲さん 「学校のため」アイデア次々



松本哲(まつもと あきら)さん。ジブラルタ生命保険教員推進チームリーダー。52歳。同社のベルマーク協賛会社加入を手がけ、10年以上も「ベルマーク担当窓口」を務めています。会社ぐるみの「マーク仕分けボランティア」も仕掛け、チラシでやる回収箱、おこづかい教育の事前教室など「学校への貢献」を考えるアイデアマン。

平嶺光子さん 鹿児島で運動浸透進める



平嶺光子(ひらね ひとみ)さん。かごしまベルマーク運動推進の代表。54歳。かごしま産業支援センター臨時職員。鹿児島市在住。昨年春から鹿児島大学センター講座「焼酎マイスター養成コース」に通っています。「願いは、県産の焼酎にベルマークが付かないかな。推進の会のホームページもあります。」

三田靖子さん 仕分けボランティア会長



三田靖子(さんだ やすこ)さん。ベルマーク仕分けボランティアグループ「火曜会」会長。75歳。元愛知県職員。同県岡崎市在住。2014年から現職で6代目の会長。火曜会は1987(昭和62)年、中心として発足し、仕分けボランティアグループの「草分け的存在」です。

鈴木久仁さん サポーター200社とともに



鈴木久仁(すずき ひさひと)さん。あいおいニッセイ同和損害保険社長。65歳。同社は自動車やPTA向けの保険にベルマークをつける協賛会社です。取引先の「ベルマークサポーター」2000社と協力して毎年200万点を集め、被災校などに贈っています。大使の制度もグループ会社から提案し、実現に協力しました。

齋藤大祐さん オイスカ高で後期委員長



齋藤大祐(さいとう たいすけ)さん。浜松市の学校法人中野学園オイスカ高校2年生。ベルマーク活動の中心となる生徒会の奉仕活動委員長で10月、後期委員長に選ばれました。オイスカ高校は集積点が累計100万点を突破したばかりで、全国で年間集積量の5年連続1位を更新中ですが、6連覇も視野に入ってきました。

岩塚製菓が協賛会社に

4月、国産米100%の米菓

ベルマーク運動の協賛会社に岩塚製菓株式会社(横濱市)が、今年4月、新潟県長岡市)が、今年4月から参加するの予定です。せんべいやあられ、おかきなどにマークをつけました。ベルマーク番号は「16」の予定です。5月10日、ズカラマーク付商品が店頭並びます。

テトラパック、4月から点数変更

紙容器リサイクル、コストが増大

協賛会社の日本テトラパック(ベルマーク番号17)の紙容器回収量が、2015年末に約700トになりました。加入した11年度は107.7トン、12年度は117.2トンと伸びています。回収に参加している学校、団体も当初の42から今では540近くが増えています。これに伴い、リサイクルの運用コストが増大しているため、

ベルマーク説明会 新年度も95会場

2016年度のベルマーク運動説明会(ベルマーク財団主催)の日程が決まりました。5月9日(月)に東京、新宿でスタートし、6月24日(金)の高崎・延岡まで全国95会場で開催します。時間はいずれも午前10時~正午、参加は無料です。4月から新たにベルマーク活動に携わるPTAのみならず、運動の基本と実務を説明します。説明会は40回目、2015年度は95会場に5052校・団体の1万4122人が参加しました。ベルマーク運動の全体像や意義、設備購入の実績、へき地校や被災校への援助などを報告します。マークを集めて仕分けし、財団に送り、預金から希望商品を購入するまでの流れをDVDやスライドでわかりやすく説明します。PTAによる体験発表では、収集、仕分け、集計、発送、活動日の調整など参考になる実例が紹介されます。受付では、ベルマーク手帳やマークつき商品の一覧表、お買いものガイド、記念グッズをお渡しします。詳細はベルマーク新聞4月号や財団ホームページなどでご案内します。

「寺子屋」支援2団体 岩手の「山田町ゾンタハウス」 宮教大の復興支援センター

東日本大震災の被災地にいる子どもたちの学びを支えているのは、学校だけではなく、地域に根ざった「寺子屋」です。被災校に派遣したり、オンラインでサポートしたり、PTAを学校に派遣したり、調整の役割を務め、夏休みや土日を利用して補習や、課外活動の支援をしています。

「寺子屋」支援2団体 岩手の「山田町ゾンタハウス」 宮教大の復興支援センター

岩手県山田町の「山田町ゾンタハウス」は、被災校に派遣したり、オンラインでサポートしたり、PTAを学校に派遣したり、調整の役割を務め、夏休みや土日を利用して補習や、課外活動の支援をしています。

S&B GOLDEN CURRY ゴールデンカレー
おかげさまで50周年
詳しくは「黄金の香り」検索

Canon make it possible with canon
スマホプリント! スマホの写真をキレイに贈ろう。PIXUS
ご家庭で使い終わった使用済みカートリッジ
学校の専用回収箱へ
一休になったらキヤノンのリサイクルセンターへ
キヤノンから「ベルマーク」点数証明書が送られてきます。
対象商品と点数
50点 使用済み トナーカートリッジ
5点 使用済み インクカートリッジ
回収箱受付FAX:0297-36-3230
お問い合わせTEL:0297-36-3229
canon.jp/ecology

ベルマーク便り
入賞団体決まる
2015年度の「ベルマーク」便りコンクール(第30回)の入賞団体が決まりました。ベルマーク財団で審査した結果、優秀賞は、同点校があったため、特別賞として、11校・園が選ばれました。10校、特別賞は1園になりました。入賞団体は以下の通りです。
優秀賞
堺市立登美西小学校(堺市東区)
町田市立大蔵小学校(東京都町田市)
那覇市立小松小学校(那覇市)
茅ヶ崎市立藤田小学校(神奈川県茅ヶ崎市)
半田市立乙川小学校(愛知県半田市)
藤沢市立立所見小学校(神奈川県藤沢市)
蒲原聖母幼稚園(静岡県清水区)
横濱市立豊岡小学校(横濱市鶴見区)
横濱市立東山小学校(横濱市東区)
八王子市立第一小学校(東京都八王子市)
八王子市立東浅川小学校(東京都八王子市)
佳作
福岡市立立付小学校(福岡市博多区)
目黒区立碑小学校(東京都目黒区)
札幌市立山の手南小学校(札幌市西区)
松戸市立旭町小学校(千葉県松戸市)
京都市立常盤野小学校(京都市右京区)
宮崎市立立池小学校(宮崎市)
豊中市立泉丘小学校(大阪府豊中市)
江別市立いずみ野小学校(北海道江別市)
東京朝鮮第四初中級学校(東京都足立区)
さいたま市立大久保小学校(さいたま市桜区)
特別賞
浜松市立神久宮幼稚園(浜松市西区)